

## 患者さんへ

脳梗塞患者に血栓回収治療施行前に側副血行発達程度評価を行う上で 320 列 dynamic computed tomographic angiography の検者間信頼性：撮影したままの前後方向 dynamic computed tomographic angiography と静脈洞削除したタウン方向 dynamic computed tomographic angiography の比較

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

### 1. 研究の対象

2021 年 4 月～2021 年 9 月までに脳梗塞を疑いダイナミック CT アンギオグラフィ (Dynamic computed tomographic angiography、dCTA) 検査を行った内頸動脈あるいは中大脳動脈水平部閉塞患者さん。

### 2. 研究目的・方法

dCTA の撮影後に、侵襲的な脳血管造影で従来撮影しているのと同じ Towne 方向へ傾けた画像の方が、診断信頼性が高くなるのではないかという仮説に基づき、対象となる患者さんの「①ワークステーションで自動的に作成された dCTA 画像の前後 (AP) 画像 (非編集 AP-dCTA 画像)」を用い、技師が操作して「②横静脈洞を削除したタウン (Towne) 方向に傾けた AP 画像 (切り抜き Towne-dCTA 画像)」を作成します。①非編集 AP-dCTA 画像と②切り抜き Towne-dCTA 画像を用いて、4 人の判定者が独立して対象画像の側副血行路発達程度を判定し、検者間信頼性 (判定一致率) を評価して比較検討します。研究期間は、院長承認後から 2022 年 4 月までです。

### 3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 4. 研究に用いる情報の種類

患者背景 (年齢・性別・原疾患)、CT 画像 等

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究代表者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

清水 利光

湘南鎌倉総合病院 放射線科

神奈川県鎌倉市岡本 1370-1

電話番号 : 0467-46-1717

(西暦 2021 年 11 月 26 日作成 (第 1.1 版))